



# 特注ドレントラップ（100A）

---

## 取扱説明書

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管して下さい。

説明書に書かれている注意事項は、必ず守って下さい。

不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。

---

## ●取扱上の注意

- ・強い衝撃を与えると破損する恐れがありますので、丁寧に取り扱って下さい。
- ・火の近くなどの特に高温になる場所で保管・使用しないで下さい。
- ・屋外でのご使用時には直射日光があたらないように設置してください。
- ・塩ビ配管用接着剤を使用する際、接着剤は、接着面以外への付着がないように十分注意して下さい。
- ・排水立て管には伸頂通気を設けて下さい。
- ・配管終了後、保温施工前に通水(満水)テストを行い水漏れが無い事を確認して下さい。
- ・通常使用時はフタをしっかりと閉めておいて下さい。
- ・トラップに多量の排水が流入すると蓋部分で漏水する場合がありますのでご注意ください。
- ・必要に応じて結露防止対策を施して下さい。
- ・本製品は気体及び液体の逆流を完全に防止することはできません。
- ・保守・点検・清掃作業が行える様にトラップ周辺に点検スペース設けて下さい。
- ・汚れの程度に応じて6ヶ月に1回以上清掃してください(別途記載の点検・清掃の手順をご覧下さい)。
- ・急激な温度変化や瞬間的な異常高温等の影響、経年劣化によって、特殊フロートボール内に水が侵入したり破損したりする場合があります。
- これらの異常が認められた場合は特殊フロートボールを新しい物と交換して下さい。
- ・耐熱温度は60°Cです(連続排水時は40°C以下として下さい)。

## ●設置時のチェックポイント

- ①トラップの流入、流出方向を確認の上、水平に取り付けて下さい。
- ②ドレン配管は順勾配で施工して下さい。
- ③トラップの二次側配管にはトラップを設けないで下さい。
- ④トラップ両端付近で配管支持を取って下さい。
- ⑤使用中にトラップ本体へ力がかからないよう設置して下さい。
- ⑥空調機のドレン口静圧に応じた落差を設けて下さい。

落差 [h] は以下の計算式を参考に設けて下さい。

$$h[\text{mm}] \geq \text{ドレン口静圧}[\text{Pa}] \div 9.8$$

(例) 機器全静圧1250Pa、機外静圧500Paの場合

$$\text{ドレン口静圧} = \text{機器全静圧} - \text{機外静圧} \times 1/2$$

$$= 1250[\text{Pa}] - 500[\text{Pa}] \times 1/2 = 1000[\text{Pa}]$$

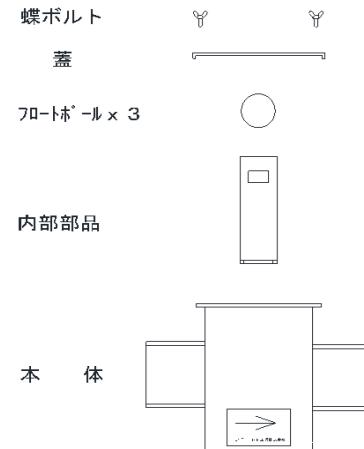
$$\text{落差} h[\text{mm}] = 1000[\text{Pa}] \div 9.8 \approx 102[\text{mm}]$$

落差hは102mm以上必要です。

## ●点検・清掃の手順

アセトン・シンナー等の有機溶剤を使用しないで下さい。

- ①蝶ボルトを廻しフタを取り外して下さい。
- ②内部部品とフロートボールを取り出して清掃して下さい。
- ③本体内のほこりや汚れ等を取り除いて下さい。  
内部の汚れ清掃時にはやわらかいブラシ等をご使用下さい。
- ④内部部品とフロートボールにキズや異常が無いか確認して下さい。
- ⑤内部部品とフロートボールを元の位置に収めて下さい。
- ⑥蓋や本体上部等にキズや異常が無いか確認し、蝶ボルトで蓋を固定して下さい。
- ⑦配管接合部、両端支持部分などに異常が無いか点検して下さい。



## ●製品の保証について

ご購入後、1ヶ年以内に欠陥が生じた場合、責任を持って補修申し上げます。

但し、下記項目の場合は除きます。

- ① 荷渡し後の施工中における取扱い不備に起因する場合
- ② 架台、基礎の不良、及び本体との固定方法の不備に起因する場合
- ③ 適当な配管が行われないことに起因する場合
- ④ 異常な外力や圧力、高温、腐食性ガス等の影響による場合
- ⑤ 運転、取扱いの不備、並びに適切な維持管理を怠った場合
- ⑥ 天変地異、不可抗力に起因する場合

## ●商品についてのお問い合わせ

〒531-0073

大阪府大阪市北区本庄西 3-9-15

コンドーFRP工業株式会社

TEL (06) 6376-0810

FAX (06) 6376-0819

